

京都マイコン研究会

第 81 号

(通算98号)

1994年4月1日 発行

発行人 圓 口 佳 昭

トピックス or ニュース

未来派へのパスポート

編集部 増田則雄

新年度から、研究会は未来へ向けての第1歩をあゆみ始めようとしています。

ことある毎に、協議しているのがネーミングと部会構成なのですが、ネーミングはさておいて、部会構成が確立していなければ指針が示されません。

皆さんが、知りたいこと、やってみたいこと、どんどん提案してみてもいいかがですか？

その第1回として、5月の例会はパソコンが実際に企業でフルに活動している現場に実習と講習をかねた「身に付く・ためになる」移動講習例会の実施予定がされています。

私くし達が、研究会を通務でのリテラシを身に付け、いかに利用し伝えて行くかを問うことにより未来へのパスポートが頂けるのではないのでしょうか。

新入会員の紹介

大塚 勇 氏 28才
八幡市岩田松原5番地



例会報告 !!

1. 3月5日(PM.6:30)

場 所 大山崎ふるさとセンター

参加者氏名

圓口、岩井、河原、中辻、鍵田、
若井、若林、増田、大塚

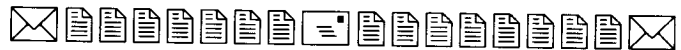
9名

2. 内 容

6:30~7:00 マイコンサロン

7:00~8:30 Windows用新ソフト「イソップ」紹介と適用実
例の説明 講師：圓口

8:30~9:00 新人紹介：増田会員から、紹介と挨拶



次回例会

開催日 4月2日(土)

場 所 大山崎ふるさとセンター

開催時間 PM.6:30

内 容

「Visual Basic プログラミングにお

ける奥の手の講習」

講師：増田

5月7日(土)

「印刷プロセス(デザイン)におけるパソコン実用例の実習」 講師：増田

「MS-Visual Basic プログラミングにおける奥の手の講習」 講師：増田

※ 5/7日例会は、京都・八幡市で午後1時頃から開催予定です。詳しくは、次の会報に掲載予定です。多数の参加を待っています。

予告講習会

シリーズ

マルチメディア

No. 3

第三回：MS-Windows版用

通信FAXソフト試用・騒動

(Tomopy)

前回、4件も騒動があったことを前述した。その結末は、

①. NTT電話局：電話回線の依頼結果。

MIさん宅へ2人の社員が回線品質を調査に来たが、めぼしい原因も見つからずに帰ったようだ。MIさんの話では、屋内配線を事務所と自宅の間にFAX回線と呼び鈴回線ともに同一の複合電線に設けたことに問題があると気付いて配線を分離したが、FAX送信「Let Beat FAX」を使っての障害問題は解決出来なかった。(若干、良くなったかなと感じる程度であった。)

②. オムロン(東京)：FAXコマンドの詳細マニュアルの入手結果。

パソコン本体とモデムの間のRS232Cケーブルの信号をモニタをする。これには、特別の専用機でなくてもノートパソコンの画面で十分に通信状態を見ることが出来る。それをういて、FAXの送信状態を調べた。こんな作業は、MIさんの特技でもある。私に渡された通信ログのプリントされた内容は、凄い量のプリント結果であった。一応、私のDOS用アプリとWindows用アプリの送信に僅かの違いがあったが、致命的なコマンドで無いこともマニュアルから判明した。

③. 「Let Beat FAX」の作者・野沢氏との連絡断絶。

その後、こちらの連絡にも全く、応答が無くなった。でも、NETの「Let Beat FAX」に関するQ&Aには本人が他の人に応答しているのに、私の個人メールには応答してくれない。彼を怒らせた原因の心当たりはあるが、それなら、その理由を明らかにして断れば、こちらも納得出来るが、単にダンマリを決められる

なんて、後味の悪い結果となった。

④. FAXメカ(京都・村田機械)：FAXが不調であることを通知の結果。

担当技術者が応対して、そこへ私がFAX送信したが、マシン本体の障害では無いと判断された。MAさん始め、知り合いのFAX宛に送信して、各社のFAXとも、ハフトン調の白黒多い絵を送信すると、途中で相手のFAXから切断してしまった。この症状の原因は、送信するソフト側にあるのか、他社のソフトを使っていないので判らない。従って、特定のFAXメカを責められないので、MIさんも諦める。

以上のような出来事であったが、文字だけの送信であれば問題が無い。便利である。

その後、MIさんは、PC/AT互換機と「Easy FAX」を手に入れたが、本業が多忙で前述の問題がハードウェアの決着は、お預けでの状態である。また、MAさんが手に入れた「Easy FAX」の使用した評価を首を長くして待ちこがれている毎日である。

今年に入ってから、キャノン、日電、富士ゼロックスなどから、続々とコピー・プリンタ・FAX送受信を備えた商品が売られるようになった。けれども、まだ、パーソナルに購入するには高価である。知人が、リコーとキャノンのどちらか、購入したいと相談を受けた。リコーはパソコンと接続する機能が無く、結果として某アプリの図面ソフトの描画はリコーに軍配が上がったが、キャノンに決めた。そのマシンへ当

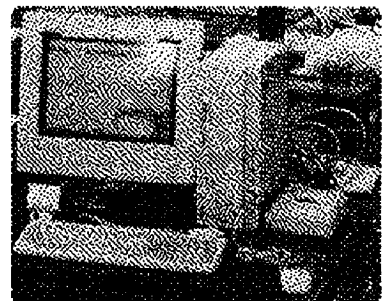
方のWindowsを立ち上げ、各種のファイルを印刷モードからFAX送信をした結果、昼間は、電話回線の雑音が多く、前述したMIさんへ送信した同様の障害があった。午後九時過ぎに送信すると嘘のように再送信することなく届いた。また、キャノンは、FAX受信すると直ぐに印刷出来るモードと複数以上の受信をスリッして置いて、一挙に印刷するモードがあって、住宅内の夜間の受信も睡眠を妨げるような騒音の発生も防ぐことが出来る機能があるようだ。

今までの話題のなかで、パソコンへFAX受信を体験したことを取り上げなかった。その理由は、私のFAX/MODEMでは、残念ながら受信機能が無いのでテスト体験が出来なかった。この話題は、MIさんが「Let Beat FAX」か、「Easy FAX」でテストしてくれるないと語れない。

今回を持って、パーソナルコンピュータにMS-Windowsを走らせ、そのアプリから、FAX送受信に関する体験談を終わる。

次回は、CD-ROM装置の体験談を届ける予定である。

(Tomopy)



第2回 スキャナ導入編

増田 則雄

品名 エプソン GT6500

スキャナについては、随分以前より興味は深かったのですが、其の頃のパソコンの環境では今ひとつの押しが無かったのです。画像の取り込みやOCRにしてもDOSの環境で使用してもプロでの利用価値が無かったのです。

この研究会へ入会したのも何とか利用したかったので、誰かさんに聞こうと思っていました。会長さんにもさかんに情報を促していましたが、TomoppyさんがWindows V. 3.0で、いろいろのフォンを使用してインクジェットプリンターで出力されたものをお見せ戴きこれほど、問い直したことが幾度もありました。今まで、パソコンではまだ無理だと思っていたことが出来る環境になってきたことの感動は、今の私の仕事にも大きな変化をあたえています。

仕事にパソコンが使える環境になり、パソコンが無ければ仕事にならない今日です。

去年、Macとスキャナもいっしょに購入した友人がいて、エプソンのGT8000の調子を色々聞いていましたが、今年に入りある日、Tomoppyさんが訪れられスキャナの話になり、実は私も以前から考えていたんですよと言う話しになりました。しかし頭の中で、Tomoppyさんは常時使うものでもない機器を購入してどうするのかとも思いました。私のところでも購入したいので毎日使うものでもなし、必要なときには使って下さいと言い購入することにしました。

後日、私にはDOS/V互換機用、Tomoppyさんは98用の本体用接続ボードとスキャナ用画像入力ユーティリティプログラムもいっしょに購入していただきました。

そして本体を購入、だが本体側にもボードがいることに気づきさっそく電話で注文、ボードが送られて来てセットする、ソフトもインストールして起動するが、エラーメッセージが表示される。「スキャナーが接続され

ていません。」数回繰り返すが同じである。スキャナボードとCPUボードとがうまく接続されていないのかと、PC本体のカバーを開けてうまく接続されているかを確認する。異常がないことをたしかめてカバーを閉じてソフトを起動、だが同じであるスキャナーに問題があるのかなと調べても何ともない、マニュアルを読むがさっぱり原因が解からないのである。この繰り返しを、日を変えて何回かしているうちにあきらめの気分になり一周間ほっちらかしていた、そのうちスキャナの占有している場所が目障りになりもう一台の互換機の台に移動させることになった。

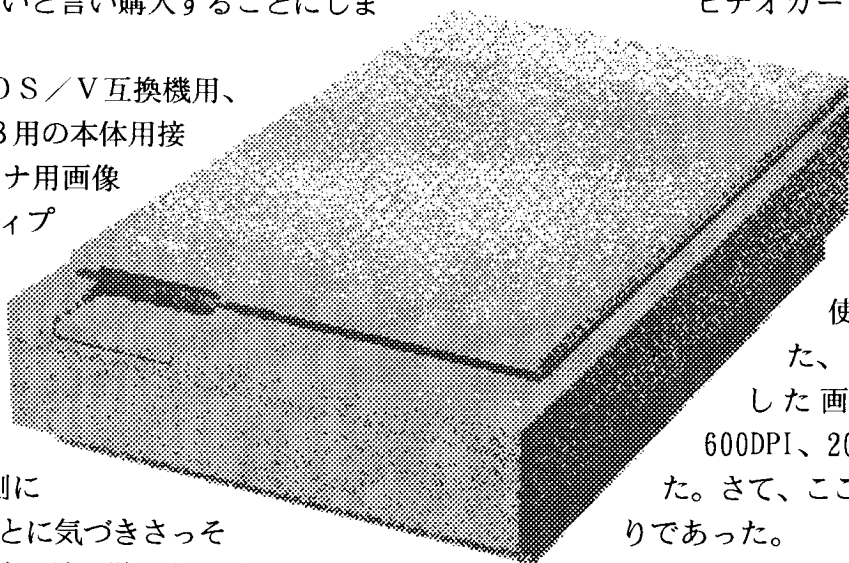
たまたま時間の空いた時にまた、PC本体のカバーの開け閉めを繰り返す気分になり。別の互換機にソフトをインストール、スキャナを接続してソフトを起動するとそしたらなんと動くではないかこれは奇跡か幻かというほど感激した、なぜという疑問が脳裏に直ぐ浮かんだことは書くまでもないが、この互換機のビデオカードの表示画面はフルカラーの32K表示にしていたのでかなと思えば表示画面を1280×1024、256色表示に変更すればやはりもう1台の互換機とおなじでソフトが「スキャナーが接続されていません。」のメッセージが丁寧にセンターに出て来てくれます。表示画面のビデオカードとなんらかの関係が

あることが判明、何時かこの関係を調べる事にして画像を取り込むことにした。

身近に研究会の写真があったのでそれを使って取り込むことにした、プレビュー画面で表示した画面をフルカラーの600DPI、200倍で設定して実行した。さて、ここからが又、大変の始まりであった。

スキャンが終わったが画面上に何かつぶつぶのような物が見えるが良く解からない、スキャ

次頁へ



前頁より

ナを使ってプリントアウトするのは初めてのこともありプリントすれば何が出ているのか解かるだろうと、キャノンLBP-A304で出力する事に決めた。一枚目がプリントアウトされる、先ほどのつぶつぶがプリントされているが何か解からない、二枚目がプリントアウトするまでの時間が、何時もと少し時間がかかり過ぎる。二枚目も何が表示されているのか解からない、三枚目の途中でプリンタードライバーが「プリンターの待時間の値を増やしてください」とメッセージを表示している。此の辺りからプリンターがなかなかプリントアウトしない、結局全てをプリントアウトを終えたのは、朝10時頃から夜の12時頃までかかり1つの写真をプリントアウトした有

意義な一日でした。

その写真が三月例会に持参させて頂きました一枚のプリント判サイズから発生した縦150×横300の巨大な実物大パノラマ写真なのです。

これが、私のスキャナ第1日目のスキャナの体験談です。此の日から、今まで持っていて使わなかったスキャナに付きもののグラフィックアプリケーションの登場になる、これがまたひと騒動が起きるものことになる。次回このことにも触れていきたいと思いますが、これは、現在進行中でもあります。此の事に関してはTomoppyさんが、一番手痛い仕打ちを今も受け続けておられます、皆さんTomoppyさんに愛の手じゃなく愛の言葉を。そして、合掌も忘れずに…。(1こけて、2こけて、3こけた)



いま、当研究会は未来に向けての研究会の在り方・会則及びネーミングその他の社会に対しての接し方や伝え方などを摸索しています。皆さんのご意見や希望をお聞きしてより良き会にしていきたいと思ひます。(以下に会則の一部を記載いたしました。)

京都マイコン研究会会則(改正案)

第1条 名称

本会は、京都マイコン研究会と称す。

第2条 目的

本会は、マイクロコンピュータに興味を持つものが、互いに学び合い、マイコンライフの充実と相互の親睦を深めることを目的とする。

第三条 活動

本会は、第2条は目的を達成するために下記の活動をする。

1. 総会・例会及び部会などの開催
2. 会員のマイコン実用例などの紹介
3. 研究会報の発行
4. その他、会の目的に応ずる活動

第4条 役員・委員

本会は、下記役員・委員を置く。

○役員

- 会長 1名
- 副会長 2名
- 会計 2名

○運営委員(例会運営)

各専門部部長で構成

○編集委員(会報編集)

- 編集委員 3名

○対外事業委員

- 対外事業委員 3名

役員と各委員の兼任は、これを防げない。

役員及び各委員の任期は、1年とする。

但し、再任はこれを防げない。

第5条 総会・役員会・運営委員会

1. 総会は、原則として年1回行ない、会長がこれを召集し議長となる。総会の議事は、出席会員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
2. 役員会は、第4条で定めた役員・委員で構成し、随時必要な時に会長がこれを召集し、会議を行なう。
3. 運営委員会は、第4条で定めた役員・委員で構成し、運営委員長を1名選出の上、委員長が随時必要な時にこれを召集し、例会の運営にあたる。

第6条 専門部

専門部は、3名以上の会員で1つの部を構成し、部長を1名選出の上、役員会の承認を得て、本会の目的を達成するため活動を行なう。

以下第15条次号記載致します。

プロフィール

No. 7

わか い ゆき お
若井 征夫

大昔、教育テレビで技術講座をやっていました。自動車整備やテレビ修理などがありました。その内にコンピュータ講座が始まったのでテキストを買って見ていました。FORTRANが中心でCOBOLも少し紹介していました。

この頃、資格マニアみたいなことをしていましたので、75年秋に第2種情報処理技術者試験を受けました。結局16、7で頓挫しています。

しかし暇つぶしで取った資格なんかほとんど役にたらず未だにAUTOEXEC. BATやCONFIG. SYSが満足に書けず、タイピングもポツリポツリです。やはり必要にせまられて習得したものでなければ身に付きませんね。

初めてコンピュータを手に入れたのはシャープのポケコンでした。BASICで遊んでいました。続いて日立レベル3で囲碁ソフトを移植していました。しかし熱し易くさめ易い性格はいかんともしがたく昔の情熱はいずこへ・・・

個人レベルでコンピュータを活用するにはCAIが最適ですが・・・私のファイルでも囲碁に関するものがほとんどです。

読み書き算盤をパソコンリテラシーと言い替えても目的が無ければなかなか身に付きません。WINDOWSが普及し誰でも使えるマシンになってもしよせんは文房具。高級万年筆を持っているだけでは小説は書けないのでは？

◆ パソコンに関する感想

ハードの進歩が激しく半年たてば旧型になるとは個人ユーザーにはついて行けない面がある。せめて自動車なみのモデルチェンジにして欲しいものだ。

◆ 主な使用ソフト

悲しいかなDOS版しか使えません。FEPはATOK、アプリは123、WORKS、VZぐらいしか使っ

ていません。あとPDSのGOTERM(囲碁通信ソフト)

◆ ハード環境

98NOTE-NV、98VX
2

◆ 本会への感想

パソコン通信のオフライン版ともいえる本会に巡り会えたことはラッキーでした。分からないことを気軽に教えてもらえるのは心強いかぎりです。

ボランティア活動的なサークルに熱心な方々に甘えてばかりで申し訳ない気持ちでいっぱいです。末永くお付き合いさせて頂きたくよろしく願います。



滿一年を経た零細企業の回顧

(Tomopy)

平成五年度の確定申告を終了したので、昨年の事業活動？を通じて、サラリーマン時代の研究開発活動と違った日々を過ごした。この会員の中にも、若年時代に脱サラをされて現在に至って活躍されていると思うが、私の様に現役を卒業して活躍されている方は無いようで、サラリーマン時代に個人企業の経営に何か必要か、私なりの解釈で得た僅かの知識から皆さんのお役に立てばと思う。

私のサラリーマンは、文部省の下級職員で某大学の研究室へ二年、中小企業へ約12年、第一部上場の企業へ満期するまでの約40年間であった。その間、いろいろな人生の先輩から多様な思想を学んで今日に至ったのですが、30歳前半に個人企業の設立を目指して準備していたのに、不思議なことに、その年に近づいた時、転職（ハンターされた）の話がでたのである。その詳しい経緯については、省略するとして、一番嫌っていた学歴社会の企業へ皮肉にも途中入社したのだ。もし、職場環境に順応出来ないなら、約5年後には初心を貫く予定であった。所が、仕事の内容も転職前と変わらない内容であった。しかし、ユーザ層の産業分野が限られた範囲となり、その所が物足りないだけで、自分で目標を立てた電子装置開発の実行や予算獲得が出来て、自由に活躍出来たことから、とうとう最後まで居座った。その間、化学会社でありながら電子技術者で過ごしたのは、不思議なくらいである。不況になっても転職せずに過ごせたのは、ユーザへ納めた化学製品のライ管理用の機器であったからと思う。もし、全く違った分野の製品であれば、途中で挫折したと思う。

さて、勤めている頃から、勤務先から何時、ほうり出されても仕事出来るように、次のことを念頭に於いていた。

①。自分の技術レベルとその該当分野のレベルの差異を埋めて置く。

②。新技術を自分の技術分野へ転用を検討する。

③。自分の能力を第三者へ表現できる話術や書く能力を訓練して置く。

④。お金に関する収支計算（単式簿記レベルの知識）を熟知して置く。

でも、なかなか実行出来るもので無いが、①。から④。迄は、サラリーマン時代にもユーザから高い評価を受けて受注に成功した物件もあった。④。に関しては、契約金額に世間相場があり、技術の付加価値がなかなか認めて貰えない。また、リスクが発生すると他の契約も破棄や次の契約が出来なくなるなど、自分の存在さえ危なくなる。

何れにせよ、これから、脱サラされる方は自分を信じてくれてたスポンサなり、サラリー時代の年収を得られる契約先を（昔、風に言えばノレンわけ）得てからにすべきと思う。

現在の私は、最低の生活は年金で過ごせるが、やはり、人並みにボーナスと同じ収入が別途、欲しいし、税金も払いたい。これも健康を維持するために必要なので、あちこちへ押しかけて仕事を戴いている。そのお陰で、僅かであるが平成五年度は税金を納めることになった。昨年の不況にも拘らず税金を納めることが出来たことは神に感謝しなければならない。もし、年金無くして生計を立てるとなると、受注に東奔西走し、12時間くらい働かないと、サラリーマンの年間収入水準に達しない。

終わりに、一技術者と言えども、経理の仕組みくらいを知っても損はしない。また、脱サラの準備は何時も怠らずに覚悟して、働いておれば、集団からはじき飛ばされることはないと思う。文化が変われば、今までと違ったジャンルのマーケットが生まれるから、新しい糧が生まれる。脱サラするなら、そこへ参入されることを勧める。

この一年を省みて雑言でした。

(Tomopy)